



庄子好光さん
3月3日亡くな
られた。家で、突
然ふらつと、一緒
に仕事をされてい
たご子息にもた
れかかつてなくな
られたとの事。心
臓に持病があつた
由。電気関係の器

奥様と深坂を散策され「もみじ谷」にも行かれ、一本一本の植樹者の名前と場所を暗記されていました。深坂を愛し、桜を愛し、思いやりのある方でした。倒れられた場所からほんの5メートル位の所に、「井藤盛治」さんご自身の桜の木があり、皆その奇遇に何かしら心を打たれていました。

い。半年と云う虫たちの命が短いとは思わないし、松や柏のように数百年の命が長いとも思わない。天地の悠久に比べれば、松柏も「一時蠅なり。」また、松陰はこんなことも言つてゐる。「悔いるよりも、今日直ちに決意して、仕事を始め技術をためすべきである。何も着手に年齢の早い晩いは問題にならない。」良い言葉ではないか。何時倒れても良い、マイペースで楽しく歩もうと思う。

取材を行う中で刈った草を木の周りに置いて、肥料とするということがよく分かりました。特に印象に残ったこ

悲しい知らせ、お一方

A circular portrait of a man with short, light-colored hair. He is wearing a red baseball cap with the word "ACSON" printed on it in white capital letters. The background is blurred, showing what appears to be a natural setting with trees.

井藤盛治さんが
2月11日に亡くなられた。維持管
理部会で桜の植樹

具や工事の仕事をされていたので、さくら友の会は工具類を、よくお店に注文していた。庄子さんは無償で工具を研いだり、手入れして下さった。さくらえのときには、何時も自家発電機と軽トラックを無償で提供いた

下関市立名陵中学校よりボランティア活動の取材・体験について、次のような内容の手紙が届いた。

ボランティア体験と

名陵中学校三年生では、総合的な学習の時間に「地域に還元できるボランティア体験」をテーマに学習を進めています。その一環として、ボランティア活動に取り組んでいる方々を取材することで、ボランティアの意義を理解し、ボランティア精神を高める契機にしたいと考えています。

「ボランティア体験」感想

市立名陵中学校三年 泉 亮祐
先日は「N P O 法人下関深坂さくら友の会」について取材させていただき、ありがとうございました。

・ボランティア活動の意義を知る。
・ボランティアに関わる人たちの苦労と喜びを知る。
・地域の人たちと交流を深め、地域を愛し、地域をよりよくしていこうとする気持ちを高める。

「ボランティア体験」感想

一ホテンテイア体験】感想

「ボランティア体験」感想
市立名陵中学校三年 吉田慎吾

目的
・ボランティア活動の意義
を知る。
・ボランティアに関わる人
たちの苦労と喜びを知る。
・地域の人たちと交流を深
め、地域を愛し、地域をよ
りよくしていこうとする気
持ちを高める。

取材を行う中で、深坂の森公園をきれいにし遊びに来る人々が気持ちよく遊べるようにしないといけないということや、自然をもつと大切にし、よこさないようにならないといけないということがよくわかりました。特に印象に残ったことはゴミがなくきれいな公園だなと思ったことでした。な公園は、気持つ

また、下関深坂さくら友の会の皆様のボランティアに対する熱い気持ちを学ぶことができました。今後は、この取材で学んだ貴重なことをまとめ、学年で発表すると共に、二期に自分たちで行う地域のボランティア活動に生かしていきたいと考えています。

「ボランティア体験」感想
市立名陵中学校三年 柴富裕
8月11日はボランティア体験、取材をさせていただきました。ありがとうございました。ボランティアでは自然を大切にすることを学びました。また、切った草は捨てるのではなく、桜の木のそばに置き、肥料にするということや、花の名前、虫の名前といった細かいことまで教えていただき、ありがとうございました。特に印象に残つたことは和泉ロードを開拓していくことです。道はきれいにできており、階段もあって出きばえの素晴らしさにとても驚きました。

「ボランティア体験」感想

思想



和泉ロード（もみじ谷）
は和泉さんが特別熱心に
管理している。

名陵中学校のみんなあ
りがとう。さくら友の会